

建設水道常任委員会



建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆市道路線の認定について

新白河62号線、昭和町17号線、鹿島前7号線及び鳥居橋前1号線の4路線を新たに市道として認定するものです。このうち、昭和町17号線は交通事故防止の観点から信号処理するために認定します。また、残り3路線は、民間宅地造成完了後寄付を受けた道路で、住宅建設も進んでいるこ

とから適切に維持管理するため認定します。

いずれの路線も市道認定の要件を具備しています。

◆決算の認定について

平成21年度白河市公営企業会計の決算について、地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付するものです。

①平成21年度白河市水道事業会計、②平成21年度白河市工業用水道事業会計を審議しました。

公共下水道事業特別会計

補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は353万7000円減額となり、歳入歳出予算総額18億8663万7000円となりました。

款別補正の歳入については、諸収入16万8000円を増額補正し、繰入金370万5000円を減額補正するものであり、歳出については、公共下水道事業費353万7000円を減額補正するものです。

主な内容は、4月の人事異動等に伴う人件費の整理、県道白河石川線旭町二丁目地内の歩道拡幅工事に伴う公共ます4箇所の移設経費などです。

農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は168万6000円減額となり、歳入歳出予算総額は12億8348万8000円となりました。

款別補正の歳入については、諸収入26万4000円を増額補正し、繰入金195万を減額補正するものであり、歳出については、農業集落排水事業費168万6000円を減額補正するものです。

主な内容は、4月の人事異動等に伴う人件費の整理、県道白河石川線東蕪内地内の歩道拡幅工事及び国道294号皮籠地内の市道白坂駅十文字線との交差点改良工事に伴う公共ます5箇所の移設経費などです。

個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は1729万3000円増額となり、歳入歳出予算総額は6620万6000円となりました。

款別補正の歳入については、国庫支出金566万6000円、県支出金127万5000円、繰入金205万2000円、市債830万円をそれぞれ増額補正する

ものであり、歳出については、浄化槽整備促進事業費1729万3000円を増額補正するものです。

主な内容は、浄化槽30基の追加設置経費、合併浄化槽使用料の徴収事務委託に伴う総合行政システム改修経費などです。

水道事業会計補正予算(第1号)

今回の補正予算の主なものは、議会の議決を経なければ流用することの出来ない経費の補正で、予算に定めた職員給与費を1億2799万9000円に改めるものです。

業務の予定量の補正では、主な建設事業の概要の改良費を3億4369万5000円に改めるものです。

一般会計補正予算(第2号)

土木費において、歳出補正総額は、2479万3000円増額となり、歳出予算総額は26億4749万3000円となりました。

主な内容は、社会資本整備総合交付金事業(街路事業費)、歴史と伝統を活かしたまちづくり事業などです。

歴史と伝統を活かしたまちづくり事業は、歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」の本年度中の認定を目指すため、国との事前協議に要する経費、法に基づく協議会の設置に要する経費、シンポジウムの開催に要する経費などを増額するものです。

★審議の中の主な質疑

問 道路橋りょう一般管理費の市道の管理瑕疵に伴う損害賠償金に関し、市道の管理については、道路の陥没など維持修繕が必要な箇所がかなり多くあり、危険である。一層の対策を講じるべきである。

答 今後さらさら維持修繕を充実させるとともに、パトロールの強化に努めます。

問 南湖公園管理費の南湖赤松危険木診断業務委託の内容について

答 倒木のおそれのある市道南湖線沿道の赤松の診断調査を樹木医に依頼し、倒木対策のみならず、根の良好な活着が得られるよう保全対策を講じていきます。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決または認定しました。